

# うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のこです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO団体などを紹介します。  
 問 地域振興課 82・3910/IP ☎ 88・9094

今年度にかかる思い  
 新型コロナが早く収束して2年前のような「まちづくり協議会」本来の姿に取り戻せたら... この機会をいただいたことに感謝と挑戦を、そして社会が正常な日常に戻れることを願っています。

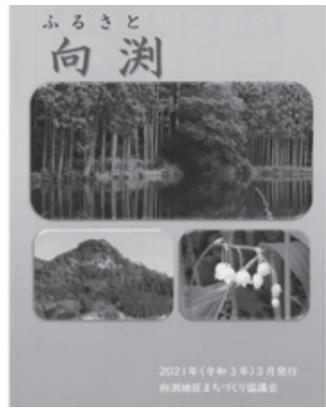


【菟田野地域担当】  
 亀井 保司  
 (かめい やすし)



【室生地域担当】  
 藤田 善弘  
 (ふじた よしひろ)

住み続けるための地域づくりを  
 変化の時代を迎えていると感じています。大局を見つめ未来を考え、今あるものを活かしていきたいと思っています。



▲ふるさと向測

1 地域づくり  
 アドバイザーを紹介  
 上記欄で地域づくりアドバイザーを紹介しています。まちづくりラスト形式で紹介しています。まちづくり協議会の運営や取り組みに向けた地域住民の活動を支援される方々で、地域振興課、各地域事務所に配置しています。よろしくお願ひします。



【大宇陀地域担当】  
 増田 順作  
 (ますだ じゅんさく)

一人ひとりのつながりを大切に  
 コロナ禍でどのような活動を目指せばいいか、難しい状況です。力まずにできることから急がず楽しく皆さんと共に取り組んでいきたいと思ひます。



【榛原地域担当】  
 吉田 泰之  
 (よしだ やすゆき)

イラスト 辻本 和代

向測地区の歴史や文化、伝承などを一冊にまとめた冊子『ふるさと向測』を作成しました。表紙は神秘的な龍王ヶ淵や水晶山、スズラン群落の自然豊かな写真で向測地区の魅力語るものとなっています。  
 この冊子は、昭和57年10月に当時の青年学級で作成された『ふるさと

向測』をパソコンで打ち直して保存しようとして始めたもので、巻頭にはその当時の言葉をそのまま掲載しています。文中には、向測地区内にある文化財を見直してみようという強い思いがこめられています。  
 冊子作成にあたっては、室生村史で再確認をし、地域に残る資料や聞き取り調査、古文書等の文献を参考にし、向測地区の歴史や2つある淵にまつわる物語のほか13項目にわたる文化財を掲載しています。その中には、龍王ヶ淵に伝わる天女伝説をもとに作られた歌の楽譜や歌詞を掲載するなど、新たな内容も追加しています。  
 貴重な写真や資料などを掲載することにより、住んでいる地域の歴史を知り、歴史的遺産や自然遺産についても改めて知ってもらおうとしたものです。地域独自の文化、伝承が今後広く永く正しく伝わっていくことを期待しています。

## 3 榛原駅前に誕生！ 『じゅうだひろば』

榛原地区まち協  
 昨夏からスタートした駅前活性化プロジェクトも、この6月で10か月経ちました。毎週金曜日の午後に出前の広場で食べ物や雑貨のお店が出



▲シフォンケーキおいしいですよ！

店しています。  
 今年の4月からは、この広場に「笑顔とにぎわいが生まれる場所『じゅうだひろば』と名前が付けられました。そしてこのプロジェクトの名前も『じゅうだマルシェ』に変更となりました。

皆さんがちょっと寄ってみたいくなるような笑顔が生まれる広場を目指しています。大きな布の看板が目印です。  
 榛原地区まちづくり協議会では、『じゅうだひろば』をみんなの広場にするために、一緒に協力して頂ける方(団体等)を募集しています。毎週金曜日の「じゅうだマルシェ」以外でも駅前を盛り上げる催しを検討している方はご相談ください。  
 例えば「子どもたちの青空発表会」、「特産品にしたい商品の販売会」、「ミニトラック市」、「不要品のリサイクルバザー」等々、まずはご相談ください。  
 お問い合わせは榛原地区まちづくり協議会事務局(日下)までお問い合わせをお願いします。



▲じゅうだマルシェ出店者とスタッフ

TEL 090-5018-7422、FAX 0745-88-9222、フェイスブックの「じゅうだマルシェ」でも可能です。

まち協などの催し予定 6月 (5月16日現在)

日程	イベント案内	主催
毎週金曜日 午前11時～午後7時まで	じゅうだ マルシェ 『じゅうだひろば(榛原駅前)』	榛原地区まち協



## イノコズチ

秋の草むらではよく衣服に逆針のとげのある実が付きますが、これがイノコズチです。生薬名は牛膝といいます。牛膝の名前は、茎の根元近くの節の部分が赤く腫れ、節間が緑で細く、牛の脚のように見えることから名づけられました。  
 イノコズチの若葉と、若茎を採取し、ご飯に炊き込むほか、若葉を熱湯で茹で、その後冷水にさらして、ゴマあえやおひたしにして食べるとおいしく、しかも薬効が得られます。  
 葉には根を使います。葉が枯れ始めた

ころに根を掘って採取し、枯れ茎、ひげ根を除いて水洗いし、乾燥したものが生薬の牛膝です。この牛膝を煎じて服用すれば、利尿、強壯、通経剤となり、月経不順、閉経、産後の腹痛などの諸病や、便秘、浮腫、腰痛、神経痛、などに効果があると言われています。ただし、牛膝は多量に服用すれば流産の恐れがあるので、妊婦は服用できません。薬効にあやかるのなら、流産の心配がなく、痛みを取り、血流を改善してくれる新芽や葉を常食するほうがおいしく、長く続けられる療法となります。



▲汁の実にして食べても美味しいですよ。  
 ※当市で「薬草活用講演会」をいただいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075